

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	ポンプ車走行中、ロックされていなかったはしご昇降装置（手動式）が降下した事案
3. 体験した事例の中心的要素	日常点検及び積載器具点検時、はしご昇降装置（手動式）のロック状態を確認しなかったため、ロックされていないことに気がつかず、業務出向でポンプ車が一般道を走行中に、はしご昇降装置が降下したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	・日常点検及び積載器具点検時に、はしご昇降装置のロック状態を確認しなかったこと。 ・業務出向前に車両周囲の確認を怠ったこと ・毎日実施している慣れによりロックされた状態にあるだろうと点検を怠ったこと。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。（大丈夫だろうと思った。）
------------------	------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和5年4月16日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：消防署を出向した直後の市道
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：車両に積載していた三連梯子が走行中に落下しそうになった。
7. 事例体験時の活動	その他：業務出向
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：業務出向（燃料補給）
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[41]歳、勤続年数[22]年、現場経験年数[22] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[35]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[10] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A・B	ポンプ車の日常点検・積載器具点検を実施する。	
経過2	当事者A・B	ポンプ車の燃料補給のため、2名で署を出向する。	
経過3	当事者A・B	署を出向した直後に梯子昇降装置が降下(当事者A・Bは気づかず)	
経過4	警察官	梯子昇降装置が走行中に降下したことを目撃し、署に知らせに来てくれる。	
経過5	署員	当事者Aに携帯電話に連絡する。	
経過6	当事者A・B	近くの店舗の駐車場に停車し周囲を確認、梯子昇降装置の降下を確認する。	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

● ●

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった その他:はしご昇降装置と三連はしごがベルトで固定されていた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

業務出向前に収納状況を確認する必要があったが怠ってしまった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

消防ヒヤリハットデータベース提出用写真

「ポンプ車の梯子昇降装置（手動式）が業務出向中に降下した事例」

